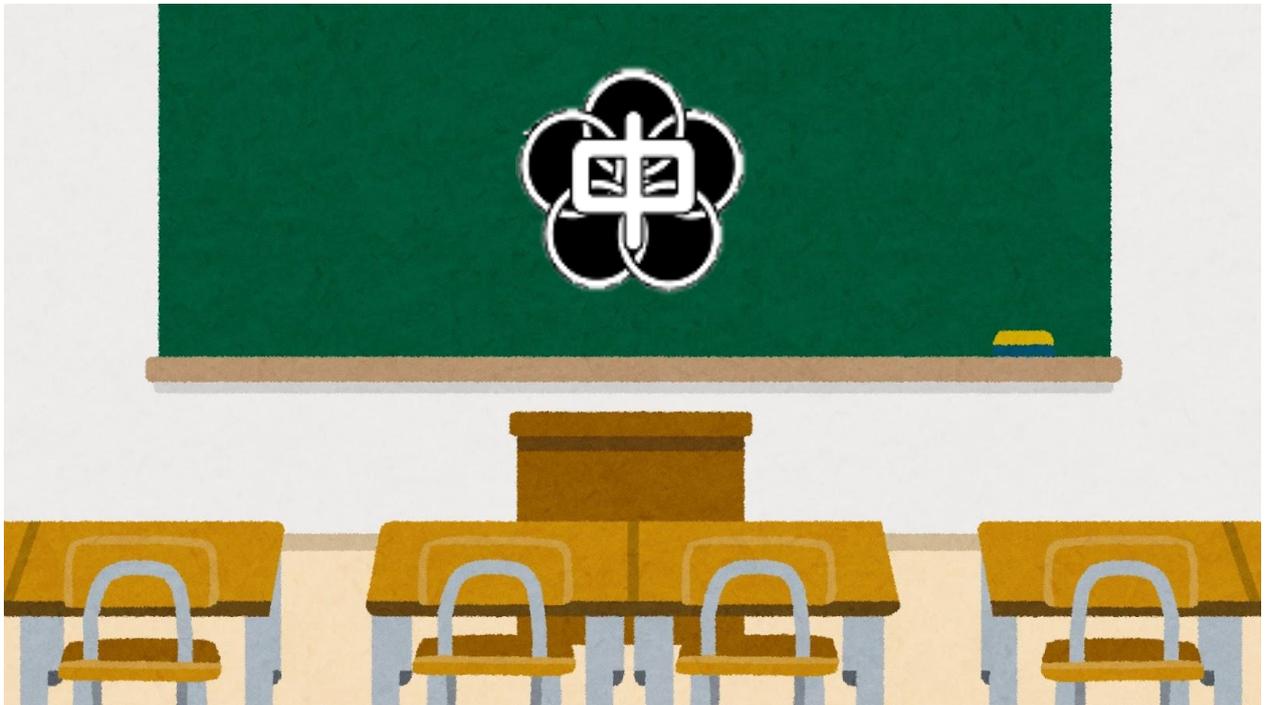


学習の手引き

(令和4年作成)



防府市立右田中学校

右田中授業のおきて

1. 自分の考えをもつ

- ・ 他人事にしない
- ・ 責任をもつ

私は〇〇だと思う。
自分は△△と考える。



2. 相手の考えを尊重する

- ・ 相手の発言を頭から否定しない
- ・ 相手の発言の訳（理由や背景）を考える

3. 反応をする

- ・ 発言しやすい雰囲気づくり
- ・ 聴いているという姿勢の表れ

どうしてそう考えた
のだろう？



自分で自分の学びを進める力（学習力）をつけよう



計画：その日のめあてを書く

今日の目標！

- ノートの1行目に「その日のめあて」を書こう。
- どんなことをどのように頑張るのか考えよう。
- 「なぜそれをするのか」という理由までかければ花マル！



テスト：自分でテストをして、自分で○付けをする（ドリルや問題集）



- ワークや新研究など問題が載っているページを見て、問題を解いてみよう。
- わからない問題があっても、飛ばさずにやろう。
- そして、注意深く○付けをし、正解と間違いを区別しよう。



分析：テストの結果を分析する



- テストをやってみて、間違えた問題はどれか、どうして間違えたのかを考える。
- 間違えた問題をどうやって解決していくのか、解決策を考える。



練習：苦手を効果的に練習する



- 間違えた問題を中心に、集中的に練習問題に取り組む。
- 本番を想定して、プレテストにもう一度挑戦する

国語科

1. 国語科について

国語を学ぶのは	あなた自身を作り上げるため。	言葉は あなたと世界をつなぎ	あなた自身の世界を作り上げる。	手に入れた言葉の数だけ	世界がはつきり見えてくる。	身につけた言葉の数だけ	自分が大きくなっていく。	さあ、友達を増やすように	言葉を増やしていこう。	言葉の数だけ、あなたは世界に近づく。	言葉の数だけ、あなたの世界は大きくなる。	国語1（光村図書）より
---------	----------------	----------------	-----------------	-------------	---------------	-------------	--------------	--------------	-------------	--------------------	----------------------	-------------

2. 国語科の学び方

学校（授業）	家庭	
	予習	復習
＊漢字や言葉の意味をしっかりと勉強して、たくさんの言葉を自分のものにしよう！ ＊読解力をつけよう！ 一つひとつの言葉と真剣に向き合うこと。 頭と心で受け止めよう！ ＊自分の言葉で積極的に表現しよう！ お互いの意見を話し合うことで、考えが深まったり、新しい発見があったりします。国語の学習はそこを楽しむのだ！	漢字や語句の学習 教科書の音読	ワークの反復学習 （2回以上解くのがお勧め） 漢字、表現の工夫などを確認
	定期テスト時の学習方法	
	教科書・ノート・ワークを並べて勉強しよう。 漢字スキル・ワークは間違えたところを中心に。 ロイロノートやプリント類の整理をして見返す。 教材本文はくり返し音読するとよい。	

3. 評価について

〈知識及び技能〉	〈思考・判断・表現〉	〈主体的に学習に取り組む態度〉
<ul style="list-style-type: none"> 慣用句や四字熟語など言葉をたくさん知っていて、適切に使えるか。 敬語などの言葉遣いが正しく使えるか。 漢字をしっかりと覚えて、日常生活の中でも正しく使えるか。 古典を読み、その世界に親しむことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くこと <ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わりやすいように話すことができるか。 人の話をよく聞き、正しく理解したり、質問や評価をしたりすることができるか。 お互いの考えを生かしながら、話し合いができるか。 書くこと <ul style="list-style-type: none"> 解りやすく伝わるよう工夫して書けるか。 助言を元に自分の文章の良い点や改善点を見つけることができるか。 読むこと <ul style="list-style-type: none"> 物語や説明文がどう書かれているかを読み取ることができるか。 文章を比較し、考えたことを討論したり、まとめたりすることができるか。 詩歌や小説の良さを考え、伝え合うことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の活動に、集中して取り組んでいるか。 ノート整理は工夫しており、考えた跡が残っているか。 ワークや漢字スキルを工夫して使っているか。 

数 学 科

1. 数学科について

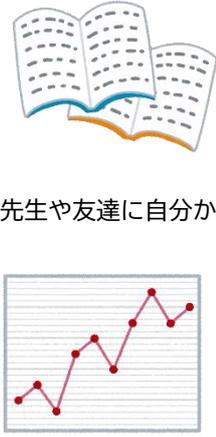
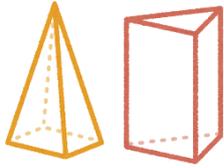
○数学を学ぶ意義

・物事を論理的に考えることができるようになる。→問題発見・解決能力を養う。

○数学を学ぶ上で必要な姿勢・心構え

- ・数学は積み重ねの教科なので、前の授業や今までの算数・数学の復習が大切です。また、答えを見つけないだけでなく、問題をどのように解いたかを大切にすることが求められます。
- ・数学の力をつけるには、毎日学習することが1番の近道です。わかろうとする気持ちを持ち、「なぜそうなるのか」をいつも考えながら学習しましょう。

2. 数学科の学び方

学校（授業）	家 庭	
	予 習	復 習
<p>○「授業に真剣に取り組む」 そのために、</p> <p>①授業の忘れ物がないようにしよう！</p> <p>②ノートは、自分にとって「1番わかりやすい参考書」をめざそう！</p> <p>・ただ黒板を写すだけでなく、大事なことや間違えて訂正したところの色を変えて書いてみたり、間違えやすい問題には印をつけたりするなど自分なりの工夫をしてみてください。</p> <p>③わからない問題をそのままにしないで、先生や友達に自分から質問しよう！</p>	<p>予習よりも復習が大切！ 復習に余裕があれば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の次の授業のところを読んでみる。 ・わからないところに？マークなどをつけ、授業の時に理解できるように準備しておく。 	<p>学んだ事をもう1度考えながら勉強することが大切！ 「わかったつもり」で終わらないように！！</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ノートや教科書を見直して、ポイントをつかむ ②学習した問題をもう1度解いてみる。 ③答え合わせは必ずして、間違いを直す。（正しく解き直す） ④「できなかった問題」は、印をつけておき、別の日にやってみる。 ⑤わからない問題は、そのままにしないで、友達や先生に聞いて解決しておく。
		<p style="text-align: center;">定期テスト時の学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ①早めにテスト勉強を開始する。 ②教科書やワークのテスト範囲のところをノート等と見比べながらやってみる。その時に、 ・やり方を理解しているか。 ・問題を自分の力で解けるかどうか。 <p>※わからないところは調べたり、質問したりする。</p>
		

3. 評価について

【知識・技能】

数や文字、方程式の計算方法や図形・関数の性質などが理解できているか。

評価方法：定期テスト、小テスト

【思考・判断・表現】

【知識・技能】を使って様々な問題を解決できるか。また、その方法を説明できるか。

評価方法：定期テスト、レポート

【主対的に学習に取り組む態度】

自分の学習状況を理解した上で粘り強く学習をし、調整しながら学ぼうとしているか。

評価方法：長期休業の課題の取り組み、確認テスト、授業の振り返り(確認問題)



社会科

1. 社会科について

授業で学んだ知識を活用して、現代の政治、経済、国際関係に関する諸問題を主体的に解決しようとする生徒の育成をめざす。

2. 社会科の学び方

学校（授業）	家庭	
	予習	復習
<p>①「めあて」と「振り返り」を意識して授業を受ける。 ※毎時間の振り返りは、「この時間で身につけた力」「学んだこと」等を盛り込んだものを自分の言葉で書き、しっかり振り返りましょう。</p> <p>②自分なりのオリジナルノートを作成する。 ※ノートを書く目的は定期テストなどで見直したときに、自分の学びの課程や授業内容を思い出すことにあります。自分にとってわかりやすいノートを作成し、活用しましょう。</p> <p>③「学習課題」に積極的に取り組む。 ※様々な学習課題に取り組みます。授業やこれまで学んだ知識、各種資料等を活用して積極的に課題を解決しましょう。</p> <p>④グループ（ペア）での話し合い活動を大切にする。 ※「授業のおきて」を意識した話し合いや他の仲間たちの意見を聞くことで、あなたの思考が広がったり、深まったりします。</p>	<p>○時間がある時は、教科書の本文・資料を読んで、大切なところにマーカーで線を引く。 ※教科書は、社会的事象の起こったきっかけや課題解決のヒントが盛りだくさん。読むと楽しいです。</p> 	<p>○授業終了からできるだけ早いタイミングで1度、ワークの問題を解く。 ※授業の復習は授業内やその日、次の日が特に有効です。学んですぐにワークに取り組みましょう。</p> 
定期テスト時の学習方法		
	<p>○ワークの問題や授業で使った学習プリントを解きなおしてみる。 ※自分のわからなかった問題を中心に問題を解いてみましょう。特に、「何がわからないかわからない」「どこを勉強してよいかわからない人」は自主学习ノートに繰り返しやってみましょう。ワークの問題が各単元のポイントですね。</p> 	

3. 評価について

「知識および技能」	定期テスト、小テスト等
「思考力・判断力、表現等」	定期テスト、レポート（ルーブリックテスト含む）、振り返り 等
「主体的に学習に取り組む態度」	ノート、ワーク、振り返り 等

理科

1. 理科について

- 自然の中にある不思議を、誰もが納得できる手段で科学的に明らかにしていく教科が理科です。「科学的」とは、実証性（実験などで確かめることができる）、再現性（誰が、何度やっても同じ結果になる）、この2つをクリアした客観性があることです。
- 科学的な見方や考え方を養い、生活をより安全で豊かなものにするために学びます。
- より多くのことを学ぶために、目的意識を持って観察・実験に取り組みましょう。

2. 理科の学び方

【教室での授業】

授業に積極的にに関わり、板書や先生・クラスの仲間の発言と共にまとめた「授業ノート」を作ろう。重要な語句を色ペンで書き、図を活用してわかりやすく書いた授業ノートは、試験勉強の強力なツールとなります。



【観察・実験】

- 観察・実験の目的を意識しよう。
- 他人事にせず、積極的に観察・実験に取り組もう。（片付けを終えるまでが実験です！）
- 先生の説明や注意事項をよく聞き、事故・怪我なく、安全に観察・実験を行おう。
- 気づいたこと、発見したことをメモして記録しよう。
- 実験後は、実験前に考えた予想や他班の結果と比べてみよう。自分の班の結果は、他の班と同じか、違ったのか。違っていた場合は、なぜ違っていたかを考えよう。「ただの失敗！」「自分たちの班が間違えた！」とすぐに判断するのは早い。もしかしたら、そこから学びが深まることも・・・
- 観察・実験の目的に立ち返り、実験結果から何が言えるかを明らかにしよう。



【家庭学習】

日頃からニュース、自然事象への関心を持って過ごしていきましょう。そして理科では、授業での出会いや発見を大切にしたいので、予習よりも復習に重点をおきましょう。学んだことを定着させるために復習は大切です。授業ノートの見直しやワークをしっかりと解き、アウトプットをしましょう。

【試験勉強】

授業ノート、実験レポートの見直しを中心に、小テスト、ワーク、章末問題（力だめし）の解き直しを繰り返し行いましょう。知識を定着させる（長期記憶に残す）ためには、覚えたことを繰り返し文字や図で書き出す（アウトプット）することが大切です。また、試験問題は50分間で解かなくてははいけません。ワーク等の問題を解く際に、短めの制限時間を設けて早く正確に解くトレーニング（タイムプレッシャー法）も積極的に取り入れていこう。



3. 評価について

- ①知識・技能・・・筆記テスト（定期テスト、単元テスト、小テスト）、
実験レポート、実技テストなど
- ②思考・判断・表現・・・定期テスト、実験レポート、ワークシート、発表など
- ③主体的に学習に取り組む態度・・・授業中の発言・態度、実験レポート・振り返りの記述内容
提出物・ノート・定期テストの内容など



※授業の主役は、生徒である皆さんです。

失敗を恐れずに積極的に取り組み、より質の高い授業を実現させて成長につなげていこう！

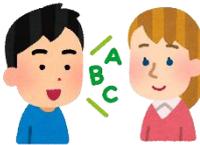
英語科

1. 英語科について

次の2点について、身に付けるように努力しましょう。

- 具体的で身近な話題について、他の教科の学習内容とむすびつけながら、お互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う力
- 聞いたり読んだりしてわかったことを話したり書いたりして伝えるコミュニケーション力

2. 英語科の学び方

学校（授業）	家庭	
	予習	復習
<p>※ 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やりとり）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の5つの力をつけるために、次の点を意識しよう。</p>  <p>【聞く】 先生の説明や友達の意見や発表を集中して聞こう。（大切な箇所は、メモをとろう。）</p> <p>【リアクション】 相手の英語に対して、反応しよう。</p> <p>【話す】 間違いを恐れずに、英語で話してみよう。</p> <p>【発表】 自分の意見を理由や例を加えて伝え合おう。</p> <p>【ペア・グループ活動】 ペアやグループで、英語でやりとりをしたり、意見を交換し合ったりすることで、学びを深めよう。（アイコンタクトが大切）</p> <p>【異文化理解】 他の人の考えや、外国の文化・生活習慣を大切にして、自分の視野を広げよう。</p> 	<p>【内容を推測する】 次に習う教科書の内容を読んで、すでに習っている単語や英文をもとに、どんな内容か考えてみよう。</p> <p>【英語の音に慣れる】 教科書のQRコードを読み込んで、音を繰り返し聞いてみよう。</p> <p>【新出単語を調べる】 教科書の終末にある、Word List を使って新出単語を調べておこう。本文をノートに写しておく、さらに効果的。</p>	<p>【リスニング・音読】 QRコードを読み込んで、習った箇所を繰り返し聞き、自分で発音してみよう。</p> <p>【ワーク】 習ったその日に、練習問題（ワーク）に取り組み、学習を定着させよう。（丸付け、間違い直し）</p> <p>【自主学习ノート】 ・練習・・・習った単語や文法、英文を繰り返し書いて練習しよう。 ・自己表現・・・習った単語や文法を使って、自分のことについて英語で表現してみよう。（自己紹介や日記など）</p>
	定期テスト時の学習方法	
	<p>○ 教科書、ワーク、ノート、授業プリント等を活用し、計画的に学習に取り組み、分からないところは先生や友達に聞き、理解しよう。（テスト週間に行われる学習会を積極的に利用しよう。）</p>	

3. 評価について

※ 次の5領域で評価をします。「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やりとり）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」

【評価方法】 下記の3つの観点について、A、B、Cで評価をし、総合的に5段階評定をだします。

- 「**知識・技能**」・・・英語で表現したり伝え合ったりする力【正確さ】
- 「**思考・判断・表現**」・・・目的や場面、状況などに応じて表現したり伝えあったりする力、また、必要な情報などを捉える力【適切さ】
- 「**主体的に学習に取り組む態度**」・・・異文化に対する理解を深め、相手に伝えよう工夫して、自らが英語を用いてコミュニケーションしようとする力【粘り強い取組、自らの学習を工夫し改善しようとする】

【評価材料】 パフォーマンステスト、定期テストを中心に、日々の授業で行う小テスト、英語を使った活動の様子やそれに取り組む姿勢・態度等で評価をします。

音楽科

1. 音楽科の学習では…〈目標〉

- ① 様々な音楽活動の楽しさを体験し、音楽への興味・関心を持ち、『感動する心』を育てる。
- ② 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、様々な『表現の力』を身につける。
- ③ 様々な音楽に興味・関心を持ち、幅広く『鑑賞する力』を身につける。

2. 音楽科の学び方

学校（授業）	家庭	
	予習	復習
<ul style="list-style-type: none"> ・学習用具の忘れ物をしない。 ・音楽室ではいつも落ち着いた気持ちを持つようにする。 ・歌うときには大きな声で精一杯歌う。歌詞の内容や曲想を感じながら、曲にふさわしい発声で合唱したり斉唱したりします。 ・人の体は立派な楽器です。美しい音楽を奏でましょう。 ・人前で堂々と歌える。 ・音楽の三要素である、リズム・メロディー・ハーモニーには常に気を付けて学習する。 ・常に美しい音に関心を持って、しっかり聴き取る。 ・鑑賞中は私語など雑音を出さず、音と映像に集中する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広くいろいろなジャンルの音楽を聴こう。 ・合唱コンクールで歌う曲に関しては、自分のパートの音源を積極的に聴こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広くいろいろなジャンルの音楽を聴こう。 ・合唱コンクールで歌う曲に関しては、自分のパートの音源を積極的に聴こう。
定期テスト時の学習方法		
<p>テストの約1週間前には、テスト範囲表が配布されるので、範囲を確認し教科書やプリントを中心に授業で習ったことをしっかり確認しておきましょう。</p>		

3. 評価について

〔知識・技能〕

実技テスト、ロイロノートやワークシートの記述内容、定期テスト

〔思考力・判断力・表現力〕

実技テスト、ロイロノートやワークシートの記述内容

〔主体的に学習に取り組む態度〕

粘り強く活動に取り組んでいるか
授業中の発言・活動状況



美術科

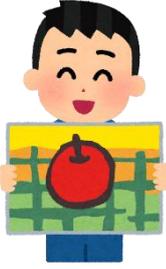
1. 美術科について

いろいろなものを見て、美しいと思う気持ちを養いましょう。なぜ、美しいのか、形や色がどのように構成されているかを考えましょう。

自分の表現したいことをどのように表現するとよいかを考えましょう。どんな材料を使うとよいか、自分の感情に合う色はどんな形や色なのかを考えましょう。

鑑賞の時間は、自分の思いや、友達、作者がどのように考えているかを考え、いろいろなものの見方を知りましょう。

2. 美術科の学び方

学校（授業）	家庭	
	予習	復習
<p><絵画・彫刻など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、自分が表現したいものは何かを考える。 ・表したいことを形や、色であらわすときに、どの表現方法にすると一番表せるか、いろいろ考え、実際に、描いてみる。 ・技術の向上は、やってみることが一番なので、試しの場で、どんどん挑戦するとよい。  <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを大切にする。作品を見てどのように感じるのか、そう思った理由は何なのかを考える。 ・作者がどんなことを表そうとしているのかを想像する。形や色などから、理由も考えてみる。  	<ul style="list-style-type: none"> ・わすれものをしない。（教科書、資料集、ファイル、4B鉛筆、色鉛筆、デザインセット、彫刻刀など） ・アイデアなどの宿題ができたときは、しっかり考え、描いてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色ぬりなどの実技のものが間にあいそうにならないときは、家庭で、やってくる。 
定期テスト時の学習方法		
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、資料集から重要な部分（授業中に大切と言った部分）をノートに書き出し、覚える。 ・実技問題や鑑賞問題は、前もって提示することがあるので、その際は、家庭でやっておく。 ・わからない際は、先生にたずねる。 		

3. 評価について

「知識および技能」 → 定期テスト、作品、プリント

「思考力・判断力、表現等」

→ 定期テスト、作品、プリント、ロイロで送る感想等

「主体的に学習に取り組む態度」 → 授業中の作業の取り組み方、作品、プリント

技術・家庭科

1. 技術・家庭科について

生活をよりよくする力・生活の自立

2. 技術・家庭科の学び方

学校（授業）	家庭	
	予習	復習
<ul style="list-style-type: none"> SDG'sの（持続可能な社会を目指した）内容を意識する。 授業を通して、必要な情報の取捨選択を学習する。 本時の「めあて」を意識し、振り返りで学習内容を確認しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 家事の手伝い 教科書の内容を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家事の手伝い 教科書・ノート・プリントで確認する。 授業で学習したことを、家庭生活の中で実践してみる。 
<p>作業学習において</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の始めに、本時の学習内容のポイントを確認する。 作業学習や実習において安全面・衛生面に注意する。 ペア学習・グループ学習を通して、作業の精度を上げる。 個々の進度に合わせた目標をもとう。 めあてに対する自己の学習（作業）活動を振り返り、次時につなげる。 	<p>定期テスト時の学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の図、写真を理解する。 プリントやノートなどで、重要語句を覚える。 	

3. 評価について

授業のプリント・レポート
製作物・発表・実技テスト



保健体育科

1. 保健体育科について

〈体育分野〉

- ・運動の楽しさや喜びを味わいながら基本的な技能を身につけよう！
- ・運動についての課題を発見し、解決に向けて考え判断し、考えたことを互いに伝え合おう！
- ・互いに協力する、自分の役割を果たすなど、最善を尽くして運動しよう！

〈保健分野〉

- ・健康・安全について理解し、基本的な技能を身につけることで、心身の健康の保持増進を目指そう！
- ・健康についての課題を発見し、解決に向けて考え判断し、考えたことを互いに伝え合おう！

2. 保健体育科の学び方

学校（授業）	家庭	
	予 習	復 習
<p><体育分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 周りを見て、楽しく活動しよう <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守ろう ・安全面に気をつけよう（けが防止） ・苦手でも OK！運動を楽しもう ○ 課題を発見し、仲間と課題解決に取り組もう <ul style="list-style-type: none"> ・身体の動かし方を学ぼう ・動画、参考書、友達からのアドバイス参考に ・積極的にお互いにアドバイスしよう <p><保健分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キーワードやしぐみについて理解し、覚えよう ○ 考えたことや思ったことを話し合おう ○ 自分自身の健康課題について考えよう 	<p><定期テスト></p> <p>教科書・ノートを一回でも見ておこう</p> <p><体育：技能></p> <p>参考書や動画を見て、身体の動かし方やルールを確認しよう</p> 	<p><定期テスト></p> <p>ノートにある問題を解こう</p> <p><体育：技能></p> <p>参考書や動画を見て、身体の動かし方やルールを確認しよう</p> 
定期テスト時の学習方法		
 	<p><定期テスト></p> <p>教科書・ノート・プリントを並べて勉強しよう</p> <p><体育：技能></p> <p>参考書や動画を見て、身体の動かし方やルールを確認しよう</p>	

3. 評価について（技能テスト、ワークシート、定期テスト、観察）

「知識・技能」…運動の合理的な実践ができているか。運動を豊かに実践するための理論について理解しているか。運動の特性に応じた基本的な技能を身につけることができているか。個人生活での健康・安全について理解し、技能を身に付けているか。

「思考・判断・表現」…自己や仲間の課題を発見することができたか。合理的な解決に向け、課題に応じた運動の取り組み方ができているか。目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫し、他者に伝えることができたか。個人生活での健康に関する課題を発見し、解決を目指し思考し判断することができたか。

「主体的に学習に取り組む態度」…運動の楽しさや喜びを味わうことができたか。運動に自主的に取り組んでいるか。健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に取り組むことができたか。